

緊急 市政報告会

市民の財産を大企業の活動のために差し出し、
京のまち壊しを加速させる計画

京プラン 後期実施計画(骨子)で 京都はようになる

とき 12月12日(土) 午後6時30分～

会場 ハートピア京都 4階 第4・5会議室
(地下鉄烏丸線丸太町駅下車すぐ)

報告 山中 渡 (市議員団団長)
ゲスト 森 裕之 (立命館大学教授)

京都市は来年度から「行革」プランの後半期をスタートさせるとして、「京プラン後期実施計画(骨子)」を発表し、市民意見募集をはじめました(12月24日まで)。

今回の骨子の最大の特徴は、全ての公共施設をふるいにかけて、「公共施設の再編・整備」「公設施設の民営化」など、さらなる公的責任放棄の方向がしめされ、学校跡地をはじめ、市民の共有財産を企業に差し出し、「大企業が活動しやすい京都づくり」に大きく踏み込むものとなっています。

ついては、いのち暮らし、京都のよさを守る市

政への転換をめざし、「後期実施計画(骨子)」についての報告、公共施設の統廃合などに詳しい森立命館大学教授の講演と合わせて、緊急の市政報告会を開催します。師走のお忙しい中と思いますが、ぜひご参加ください。



11月26日 元貞教小学校の跡地を調査する市議員団